

2013年度事業計画

学校法人 東洋英和女学院

本学院は、キリスト教（プロテスタント）の信仰と聖書の教えに基づいて、建学の精神である「敬神奉仕」に沿った人間形成を重んじる一貫教育を行っています。

学院創立129年に当たる2013年度は、教育指導面の一段の充実を図るとともに、各部の連携をより一層強化し、園児から学生に至る一貫教育という特色を活かす努力を続けていきます。

各部毎の2013年度事業計画は以下のとおりです。

1. 各部の教学計画

(大学・大学院)

《大学》

2010年度にスタートした2学部4学科の完成年度である本年は、2014年度以降のカリキュラムの見直しと更なる充実のために大学改革に着手する。

基礎学力を高めるための学習支援活動に全力を上げて取り組むことなどにより、教育効果を高める。

新たにキャリアコンサルタントを配置することにより、キャリア教育および就職支援の体制の充実を図る。

教員の研究テーマを開示することにより、教員相互の研究テーマの高度化などに資する。

科学研究費など外部資金の導入を積極的に図る方針である。

また、地域貢献の観点も含め公開シンポジウムを企画するほか、教職員を対象としたFD（Faculty Development）セミナーを開催し、大学の将来像について検討していく。

《大学院》

専門職社会人のリカレント教育、生涯教育カリキュラムの充実を図り、入学者増への努力を行う。

具体的には、人間科学研究科では2014年度改革の準備に着手し、国際

協力研究科では公開シンポジウム等の企画などにより地域貢献・社会貢献の強化を推進する。

(中学部・高等部)

日々の礼拝や修養会などの諸行事を通じて、学院に受け継がれてきたキリスト教教育を継続するとともに、建学の精神の継承を図る。

中学部および高等部の新カリキュラム実施に伴い、少人数授業やグレード別授業を積極的に推進し、より一層の学力向上を図るとともに、選択教科を充実させて多様な進路選択に応える。また、夏期の補習講座・受験対策講座の拡充を図る。

各教科とも、シラバスに基づき質の高い授業を推進する。特に英語では、高度な授業を維持し、国際社会に通用する英語力の育成を図る。また、教員の授業力向上のため、研修体制の充実を図る。

クラブ活動必修制を維持し心身の健全な成長を促すとともに、学校行事や野尻キャンプサイトでの夏期行事などを通して生徒の自主的な活動を育成する。また、ピアノ科をはじめとする課外教室の充実にも努め、生徒の多様な活動を奨励する。さらに、夏期カナダ語学研修・春期アメリカ語学研修や留学生受入れなどにより国際交流活動を積極的に推進する。

(小学部)

すべての活動が、「敬神奉仕」の具現化を目指すものであることに努め、同時に小学部の教育をより多くの方々に理解いただくため、積極的な外部発信を図る。

私学ならではの特性を生かした、専門性と質のより高い教育を目指すため、各教科の充実に努め、各教員が研修・研鑽に励む。

小学部の特色である追分寮での宿泊体験活動、韓国梨花女子大学附属初等学校などとの国際交流教育、聖歌隊・ハンドベル等の有志参加活動、ピアノ科・オルガン科などの課外活動、東日本大震災被災支援その他の社会貢献活動を積極的に推進する。

今年度から正式に導入するスクールカウンセラー体制を有効に機能させる。

(東洋英和幼稚園)

「敬神奉仕」の建学の精神を具体化し、園児の一人ひとり異なる賜物を尊重し豊かな心の成長を支える保育を実践していく。

園児の実感や感性を大切にして、東日本大震災の被災者、バングラデシュ

の子どもたちと教師たちへの支援を多様な方法で続けていく。

家庭との連携のもと絵本に親しむ機会を増やし、園児と保護者、保育者との信頼関係をより確かなものとし、知的好奇心も育てていく。

保育者の専門性を深め保育の質の一層の向上に努めるため、園外での研修に積極的に参加する。

2014年度は幼稚園創立100周年にあたるため、記念事業を実施する。

(大学付属かえで幼稚園)

キリスト教を基盤とした保育を行うこと、大学の付属園として保育者の養成に寄与することを目的とし、地域に根差した保育を実践する。

2. 各部の環境整備計画

(大学)

教育環境の一層の充実を図るため、大学ネットワークシステムの全面的更改を行なうほか、PC教室へのCALLシステム導入・図書館の情報システム端末機器更新などを実施する。

また、グラウンドの全面的補修工事を行い、整備する。

(中学部・高等部)

教育環境のより一層の充実を図るため、PC教室の設備更新・LAN配線整備のほか、教育用電子機器の購入・PCの更新などにより、IT関連設備機器の整備を推進する。

省エネ推進の観点から、省エネ蛍光灯への切替えを継続するほか、空調用大型機器の設備更新を実施する。

また、野尻キャンプサイトの安全面の強化を図るため、監視カメラの設置・周辺設備の強化工事等を実施する。

(小学部)

教育用電子機器・空調設備などの整備により、教育環境のより一層の充実を図る。

厨房設備の交換などにより、質の高い給食提供を実現する。

追分寮の安全面の強化のため更新工事を実施する。

(東洋英和幼稚園)

2015年度より予定している女児の三年保育開始のため、園舎の増改築について検討を深める。

(大学附属かえで幼稚園)

衛生に配慮し設備改修工事を実施するほか、保育室などの修繕工事を実施する。

3. 管理運営計画

急激な環境変化の下で、学院各部が社会の要請に対応しつつその使命を全うしていくための基盤を強化することを目的に、管理運営面で以下の課題に重点を置き取り組む。

1. 教職員の一段の能力伸長を促し、より働き甲斐を感じることの出来る給与制度を構築する。
2. 関係先との既往契約を合理性・効率性の観点から見直し、大口契約を中心に競争見積り合せを実施すること等により、予算の適正かつ効率的な執行を図る。
3. 安全性と収益性の両面に配慮した資産運用を行なう。
4. 補助金や科学研究費など公的資金を財源とする研究費について、法令等に基づき適切な管理運用を図る。
5. 合理的かつ効率的な事務運営を図ることを目的とし、収益事業法人の設立を検討する。
6. 六本木五丁目西地区市街地再開発など学院の将来に係る中長期的課題について、検討作業を推進する。
7. 東洋英和楓の会および日常の広報活動を通じ、全ての学院関係者と学院の関係を強化する。また、東日本大震災の被災地支援に引続き取り組む。

以上